

# Press Release



〒753-8511 山口市吉田1677-1  
TEL : 083-933-5007  
FAX : 083-933-5013  
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

2024年2月6日

送付枚数 本票含め3枚

報道機関 各位

## 件名：大学院創成科学研究科長候補者の決定について

このことについて、2月6日開催の役員会において、別紙のとおり、次期大学院創成科学研究科長候補者を決定しましたので、お知らせします。

※この件に関する詳細は下記までお問い合わせください。

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部  
総務課広報室  
〒753-8511 山口市吉田 1677-1  
TEL 083-933-5007  
FAX 083-933-5013  
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

## 山口大学大学院創成科学研究科長候補者の決定について

山田 陽一 現大学院創成科学研究科長の任期満了（令和6年3月31日）に伴い、2月6日開催の役員会において、山田 陽一 教授（大学院創成科学研究科）を次期大学院創成科学研究科長候補者として決定した。

任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間である。

- 【氏 名】 山田 陽一（やまだ よういち）
- 【年 齢】 58歳（昭和40年7月生）
- 【出身地】 山口県
- 【現 職】 山口大学教授大学院創成科学研究科  
山口大学工学部長  
山口大学大学院創成科学研究科長  
国立大学法人山口大学教育研究評議会評議員
- 【専門分野】 物性I（レーザー分光）、電子・電気材料工学（半導体光物性工学）
- 【学 歴】
- |       |    |                            |
|-------|----|----------------------------|
| 昭和63年 | 3月 | 大阪大学工学部電気工学科卒業             |
| 平成2年  | 3月 | 大阪大学大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程修了 |
| 平成5年  | 3月 | 筑波大学大学院博士課程物理学研究科物理学専攻修了   |
- 【学 位】 工学修士（大阪大学）（平成2年3月）  
博士（理学）（筑波大学）（平成5年3月）
- 【職 歴】
- |       |    |  |
|-------|----|--|
| 平成4年  | 4月 | 日本学術振興会特別研究員   |
| 平成5年  | 4月 | 筑波大学助手物理学系   |
| 平成7年  | 4月 | 山口大学助手工学部  |
| 平成9年  | 4月 | 山口大学助教授工学部   |
| 平成18年 | 4月 | 山口大学助教授大学院理工学研究科   |
| 平成19年 | 4月 | 山口大学准教授大学院理工学研究科   |
| 平成22年 | 4月 | 山口大学教授大学院理工学研究科  |
| 平成26年 | 4月 | 山口大学大学院理工学研究科物質工学系専攻長<br>(~27.3.31)                              |
| 平成27年 | 4月 | 山口大学工学部電気電子工学科長 (~28.3.31)                                       |
| 平成28年 | 4月 | 山口大学教授大学院創成科学研究科（現在に至る）<br>山口大学工学部副学部長 (~30.3.31)                |
| 平成30年 | 4月 | 国立大学法人山口大学教育研究評議会評議員<br>(~令和2.3.31)                              |
| 令和2年  | 4月 | 山口大学工学部電気電子工学科長 (~4.3.31)<br>山口大学大学院創成科学研究科物質工学系専攻長<br>(~3.3.31) |
| 令和3年  | 4月 | 山口大学大学院創成科学研究科電気電子情報系専攻長<br>(~4.3.31)                            |

令和 4年 4月 山口大学工学部長（現在に至る）  
山口大学大学院創成科学研究科長（現在に至る）  
国立大学法人山口大学教育研究評議会評議員（現在に至る）

**【選出経緯】**

大学院創成科学研究科から研究科長候補適任者の推薦を受け、山口大学大学院研究科長選考規則第8条第1項に基づき、役員会において所信表明の内容及び面接の結果を総合的に審議の上、学長が研究科長候補者を決定した。

**【選出理由】**

創成科学研究科長として、大学及び創成科学研究科の発展のために尽力している実績がある。また、大学の運営方針及び同研究科の抱える課題を十分に理解し、同研究科の将来構想、教育・研究の活性化及び地域貢献に向けた具体的な取組を構想している。

以上のことから、大学本部と協力し、創成科学研究科における工学系・理学系・農学系の各系及び融合的教育研究活動にリーダーシップを発揮し、同研究科を適切かつ効果的に運営し、大学のさらなる発展に貢献していくことができる者として適任であると判断した。

（注）山口大学長の発令までは、大学院創成科学研究科長候補者となります。